

令和5年度（2023年度）八代高等学校シラバス

教 科	国語	科 目	文学国語
学年・類型	2 学年・文系	単位数	2
教科書	精選論理国語（東京書籍）（2 東書 文国701）		
副教材	国語総合便覧 第一学習社 現代文単語集 宅習用問題集		
科目目標	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
学習方法	教科書や副教材を中心に、知識をしっかりと身に付ける。また、課題探究学習やグループワーク等を通して、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度を養う。		

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。

評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①定期考査（知識・技能の定着状況を評価する問題を出題） ②確認テスト ③授業への取組状況	①定期考査（思考・判断・表現について評価する問題を出題） ②確認テスト ③課題の内容 ④授業への取組状況	①課題やノートへの取組状況や提出状況 ②授業への取組状況

各学期及び学年の成績算出方法について
観点別評価 知識・技能 40% 思考・判断・表現 40% 主体的に学習に取り組む態度 20%

学 期	学習内容	評価規準（到達目標B規準）と到達度チェック（自己評価）			評価方法 （学習指導要 領に対応）
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 学 期	光の窓 小池昌代	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	粘り強く言葉と感覚との関係について、筆者の捉え方を理解し、学習課題に沿って自分の経験を振り返って考えをまとめ、発表しようとしている。	【知技】 (1) ア、イ(2) ア、イ 【思判表】 読むこと(1) ア、カ
	『山月記』 中島敦	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。	粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。	【知技】 (1) ア、イ(2) ア、イ 【思判表】 読むこと(1)ア、イ

2 学 期	詩と感情生活	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	進んで詩についての筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って詩の特質について考えを深めようとしている。	【知技】 (1) ア、イ(2) ア 【思判表】 読 む こ と(1)ア、 カ
	【言語活動】 書評を書く	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。	積極的に書評についての理解を深め、今までの学習を生かして内容を解釈し、書評を書こうとしている。	【知技】 (1) ア、ウ、 エ 【思判表】 読 む こ と(1)ア、 ウ ⑧ 読 む こ と(2)ア
	沖縄の手記から 田宮虎彦	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	粘り強く時代背景や登場人物の生き方・考え方を把握し、学習課題に沿って、人間の生と死について考え、まとめようとしている。	【知技】 (1) ア、イ(2) ア 【思判表】 読 む こと(1) ア、カ
	永訣の朝	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉	粘り強く作品に表現された内容を把握し、学習課題に沿って作品の主題と、それを支える優れた表現を見つけようとしてい	【知技】 (1) ア、イ(2) ア、イ

	語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。	る。	【思判表】読むこと(1) ア、イ
モードの変遷	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。	粘り強く本文中の短歌の表現の特質を理解し、今までの学習を生かして選んだ短歌の「時代性」がどのように反映されているか自分の考えをまとめようとしている。	【知技】(1) ア、イ(2) ア 【思判表】読むこと(1)ア、オ
【言語活動】 共同で詩を創作する	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。	・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	積極的に共同で詩を創作する活動に取り組み、今までの学習を生かして鑑賞や意見交換を通して、詩に対する自らの価値観を捉え直そうとしている。	【知技】(1) ア、ウ、エ 【思判表】書くこと(1)エ ㊦書くこと(2)エ

	こころ	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。	粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。	【知技】(1) ア、イ(2) ア、イ 【思判表】読むこと(1) ア、エ
3 学 期	鞆	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。	粘り強く寓意が表しているものを読み取り、学習課題に沿って作者が描こうとした意図について考え、内容紹介文を書こうとしている。	【知技】(1) ア、イ(2) ア、イ 【思判表】読むこと(1) ア、エ

	あの朝	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。	粘り強く市子の状況から心情の変化を読み取り、学習課題に沿って自分の「なくすことで好きになったあれこれ」について市子の場合と比較して考え、話し合おうとしている。	【知技】(1) ア、イ(2) ア 【思判表】読むこと(1) ア、イ
	【言語活動】翻案作品を創作する	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。	「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。	進んで作品を読み込み、効果的に伝えるための構成や表現を工夫しながら、学習課題に沿って翻案作品を創作しようとしている。	【知技】(1) ア、ウ、エ 【思判表】書くこと(1)イ ④書くこと(2)ウ

	文学のふるさと	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	粘り強く具体例と筆者の主張との関係に注意して本文を読み、学習課題に沿って文学のふるさとについて、筆者の考えを理解し、まとめようとしている。	【知技】(1) ア、イ(2) ア 【思判表】読むこと(1) ア、カ
	【言語活動】評論や解説を参考に論述する	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。	「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。	進んで自分が立てた仮説について検証し、評論や解説を参考にして作品への解釈を深め、学習課題に沿って論述しようとしている。	【知技】(1) ア、ウ、エ 【思判表】読むこと(1)オ ⑧読むこと(2)イ